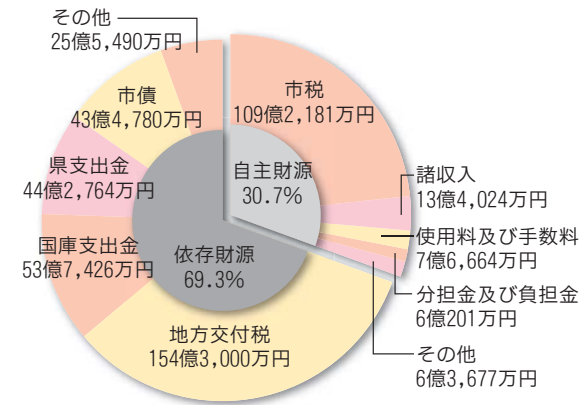


平成27年度一般会計予算 464億207万円

歳入



◆用語解説

自主財源…市に納められる税金や施設の使用料、住民票の交付手数料など
依存財源…市の財政力に応じて国から交付される地方交付税や国・県補助金、市債など
地方交付税…全ての市町村が一定水準の行政サービスを確保できるように、国税(所得税、酒税など)から配分されるお金
国庫支出金・県支出金…特定の事業の財源の一部として、国・県から支出されるお金
市債…公共施設の整備などのために、長期に借り入れるお金

◆歳入予算額内訳

		(単位:万円)		
項 目		予算額	構成比	増減率
自主財源	市税	109億2,181	23.5%	0.6%
	市民税	43億7,330	9.4%	1.6%
	固定資産税	54億9,027	11.8%	0.2%
	軽自動車税	2億6,204	0.6%	3.4%
	市たばこ税	6億7,961	1.5%	△3.1%
	その他	1億1,659	0.3%	0.2%
	諸収入	13億4,024	2.9%	0.2%
	使用料及び手数料	7億6,664	1.7%	△7.5%
	分担金及び負担金	6億 201	1.3%	0.5%
	その他	5億7,179	1.2%	△27.5%
依存財源	地方交付税	154億3,000	33.3%	△1.9%
	国庫支出金	53億7,426	11.6%	17.9%
	県支出金	44億2,764	9.6%	54.6%
	市債	43億4,780	9.4%	3.6%
	地方消費税交付金	15億7,290	3.4%	50.5%
	地方譲与税	7億7,770	1.7%	△5.0%
	自動車取得税交付金	1億1,140	0.2%	14.3%
	地方特例交付金	2,840	0.1%	△13.1%
	配当割交付金	1,610	0.0%	19.3%
	利子割交付金	1,530	0.0%	△10.5%
その他	ゴルフ場利用税交付金	1,360	0.0%	△8.1%
	交通安全対策特別交付金	1,180	0.0%	△20.3%
	株式等譲渡所得割交付金	770	0.0%	208.0%
	小計	321億3,460	69.3%	9.3%
	合計	464億 207	100.0%	5.8%

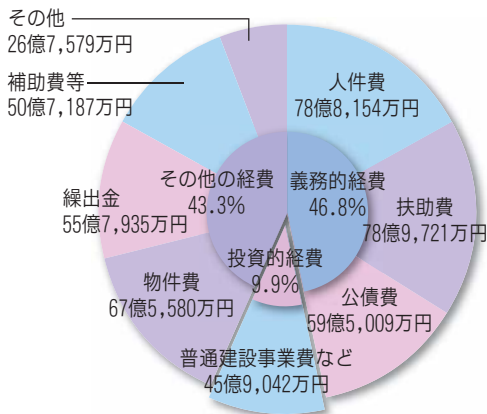
歳出

◆歳出予算額内訳 (※性質別歳出)

項 目		予算額	構成比	増減率
義務的経費	人件費	78億8,154	17.0%	1.8%
	扶助費	78億9,721	17.0%	2.8%
	公債費	59億5,009	12.8%	0.4%
	元金	53億9,968	11.6%	2.2%
	利子	5億5,041	1.2%	△15.0%
	小計	217億2,884	46.8%	1.7%
投資的経費	普通建設事業費	45億8,842	9.9%	5.7%
	災害復旧事業費	200	0.0%	0.0%
	小計	45億9,042	9.9%	5.7%
その他の経費	物件費	67億5,580	14.6%	7.0%
	繰出金	55億7,935	12.0%	△0.5%
	補助費等	50億7,187	10.9%	40.6%
	投資及び出資貸付金	11億5,553	2.5%	△1.1%
	維持補修費	10億3,313	2.2%	2.7%
	積立金	4億4,713	1.0%	2.2%
	予備費	4,000	0.1%	0.0%
	小計	200億8,281	43.3%	10.5%
合計		464億 207	100.0%	5.8%

※性質別歳出

歳出の分類方法は、目的別と性質別があります。前者は農林水産業費や教育費など目的ごとに分類したもので、後者は人件費や普通建設事業費、物件費など性質ごとに分類したものです。



◆用語解説

義務的経費…人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費
投資的経費…道路や学校など、将来に残るものに対する経費
その他の経費…施設の光熱費や事務組合・各種公益団体に対する補助金などの経費

補正予算と一体で編成

農畜産業の生産施設への整備

本年度の予算編成は、まちづくり総合計画第1期中期プランに掲げる各種施策の事業化に努めました。また、四つの重点戦略として設定した「人口減少対策」「市街地の再生」「交流人口の拡大」「防災力の強化」に関する事業を盛り込みました(本年度の主要事業については、4、5ページに掲載)。

まちづくりに向けた取り組み

3月市議会定例会で、平成27年度当初予算が審議・可決されました。本年度の一般会計予算は、平成18年に新市が誕生して以降、最大規模となる464億207万円。前年度当初予算比で25億2620万円、5.8%増の積極型予算として編成しました。

平成27年度当初予算のあらまし

■歳入について

自主財源の柱である市税は前年度比0.6%増で計上。そのほか、臨時福祉給付金や、農業・子育て支援などに関する国や県からの補助金の増加も見込んでいます。また、市債は、学校施設や振興センター整備などハード事業の増加に伴い前年度比3.6%増となっています。

■歳出について

国体冬季大会およびリハーサル大会の開催をはじめ、大迫中学校の校舎改築などに要する事業費や、マイナンバー制度への対応、市街地の活性化を図る立地適正化計画の策定などに要する経費を計上。そのほか、国の制度への対応に伴う農地集積協力金など、大幅な事業費の増額を見込んでいます。

※文中の用語「自主財源」「市債」については、左ページで説明しています

■平成27年度各会計予算の総括表

区 分		27年度 予算額	26年度 予算額	増減額	増減率	27年度末 市債残高 見込み	26年度末 市債残高 見込み	増減額
一 般 会 計		464億 207	438億7,587	25億2,620	5.8	538億8,695	549億3,882	△10億5,187
特 別 会 計	国民健康保険	113億3,265	102億3,851	10億9,414	10.7	—	—	—
	後期高齢者医療	19億1,447	18億8,351	3,096	1.6	—	—	—
	介護保険	98億7,968	96億1,641	2億6,327	2.7	—	—	—
	公設地方卸売市場事業	14,547	6,209	8,338	134.3	1億8,252	1億3,799	4,453
	下水道事業	40億5,424	39億3,743	1億1,681	3.0	309億6,679	311億8,834	△2億2,155
	農業集落排水等污水处理事業	16億1,156	16億2,712	△1,556	△1.0	139億4,820	141億8,905	△2億4,085
合 計		753億4,014	712億4,094	40億9,920	5.8	989億8,446	1,004億5,420	△14億6,974

※市の予算体系…市の予算は福祉・教育・道路整備など、私たちの生活に深くかかわる事業を行うための「一般会計」と国民健康保険事業や下水道事業など、保険料や使用料などで特定の事業を行う「特別会計」の二つで構成されています

人づくり 郷土を愛し、丈夫な体と深い知性を持つ心豊かな市民が育つまち

子育て環境の充実

■保育委託事業

16億9,620万円
国の新制度に対応し、保育園、幼稚園、認定こども園、小規模保育事業所それぞれの施設に応じた保育委託や給付を実施します。

■放課後児童支援事業

1億9,486万円
学童クラブ開所支援や放課後子供教室の開設、八重畑学童クラブの整備などを実施します。

■第3子以降保育料負担軽減事業〈新規〉
(3,665万円)

第3子以降の保育料負担額の一部を補助します。

生涯学習の推進

■国際姉妹都市等交流推進事業

1,556万円
国際交流研修事業や友好都市提携記念事業の開催などを支援します。



学校教育の充実

■大迫中学校校舎改築事業

1億406万円
学校の適正規模を見直し、安全・快適な教育環境のため改築を進めます。

スポーツの振興

■第71回国民体育大会等開催事業

2億6,356万円
平成28年開催の「希望郷いわて国体」の準備を進めるとともに、冬季大会とリハーサル大会の開催します。

■スポーツ施設環境整備事業

1億5,653万円
国体や大規模大会の開催に備え、スポーツ施設の計画的な改修と整備を進めます。



芸術文化の振興

■高村光太郎記念館企画展示事業〈新規〉
431万円

高村光太郎が花巻市に疎開して70周年を迎えるに当たり、記念館のリニューアルとあわせ企画展を開催します。

地域づくり すべての市民が手と心をつなぐ、個性あふれる自立したまち

地域主体のまちづくり

■定住促進事業〈新規〉

(1,200万円)
市内に定住を希望する子育て世帯のU・I・Jターン者が住宅を購入する場合に、一部助成します。

■地域おこし促進事業〈新規〉

1,802万円
市内4地域において、都市地域からの移住者に「地域おこし協力隊」として地域活性化のための活動をしてもらいます。

行政経営 市民目線で経営する強くて優しいまち

効率的・効果的な行政運営

■番号制度導入事業

1億6,821万円
マイナンバー制度の円滑な導入と活用のため、システムの改修や制度の周知などを実施します。

持続可能で健全な財政運営

■市有財産適正管理事業

1,031万円
公共施設などの現状把握や将来見通しの分析を行い、管理の基本的な方針を定めるため、「公共施設等総合管理計画」の策定に着手します。

平成27年度 主要事業を紹介します

まちづくり総合計画第1期中期プランに示す主要事業のうち、平成27年度に実施する主な事業を「しごと」「暮らし」「人づくり」「地域づくり」「行政経営」の五つの分野に分けて紹介します。

なお、紹介する事業には、国の補正予算に対応するなど、平成26年度3月補正予算に前倒しして計上し、平成27年度予算と一体で編成したものを含みます。この場合の予算額は()内に示しています。

※中期プランは、まちづくり総合計画に掲げた将来都市像の実現に向けて、取り組む施策の方向性や数値目標、主要事業を示したものです。中期プランと平成27年度予算書は、本庁秘書政策課(中期プランのみ)、本庁財政課(予算書のみ)、各振興センター、各市立図書館、まなび学園に備え付けているほか、市ホームページに掲載しています

しごと 仕事いっぱい、雇用がいっぱい、活力に満ちたまち

農林業の振興

■担い手育成支援事業

3,548万円(480万円)
地域農業の担い手となる農業者や新規就農者、集落営農組織の育成のための助成などを行います。

■水田営農継続緊急支援事業〈新規〉
(9,897万円)

主食用米の生産者に対し、肥料や農薬の購入経費を補助します。



観光の振興

■観光情報発信事業

4,534万円
各種キャンペーンやテレビ、新聞などを活用して花巻の魅力を発信します。

農工商観光連携の推進

■工業・流通団地整備事業

5,508万円
新たな企業誘致のため、拡充整備の実施計画を策定します。

雇用環境の充実

■就労支援事業

1,205万円(3,069万円)
ジョブカフェはなまきの運営などの求職者支援を実施します(U・I・Jターン者の就業奨励金を新たに交付します)。

暮らし 自然豊かな地域で共に支え、誰もが安心して、いきいきと快適に暮らすまち

環境の保全

■ハヤチネウスユキソウ誕生80年記念事業〈新規〉

198万円
高山植物の保護について理解を深めるため、記念行事を開催します。

防災危機管理体制の充実

■避難対策事業〈新規〉

1,951万円
災害時に備え、ハザードマップの作成・配布や防災ラジオの貸与などを実施します。

生活基盤の充実

■立地適正化計画策定事業〈新規〉

1,698万円
人口減少社会に対応できる、住みよいまちの形成に向けた計画を策定します。

福祉の充実

■イーハトーブ養育センター整備事業〈新規〉
1,083万円

障がい児の通所支援施設の機能向上のため、施設整備の設計などを行います。

健康づくりの推進

■感染症予防対策事業

2億9,577万円(3,712万円)
各種予防接種を実施します(平成26年度よりこどものインフルエンザ予防接種費用を助成しています)。

■乳幼児医療費助成事業

(9,400万円)
本年8月より、3歳以上就学前の乳幼児の所得制限と自己負担を撤廃し、乳幼児の医療費無料化を実施します。